

## 会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（4月定例会） 会議録
開催日時	平成25年4月19日（金曜日）午後2時から4時15分まで
開催場所	保谷庁舎3階 会議室
出席者	委員：須永議長、内田委員、屋宮委員、川崎委員、倉島委員、操野委員、濱崎委員、原委員、矢野委員、山田委員 （欠席）齋藤副議長 事務局：磯崎社会教育課長、神田主査
議題	（1）社会教育施策の今後のあり方について （2）報告 その他 1 教育計画策定懇談会（4月17日）の報告 2 放課後子供教室試行事業について
会議資料の名称	資料1 社会教育施策の今後のあり方について（提言）第2案 資料2 西東京市教育計画策定のためのアンケート調査報告書（概要版） 資料3 西東京市教育計画策定のためのヒアリング調査報告書 資料4 西東京市社会教育委員名簿（平成25年4月1日現在） 資料5 社会教育委員の会議 今後の日程（案） 資料6 東小学校・住吉小学校 放課後子供教室試行事業 参加者数
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><u>新任委員の任命について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長会推薦委員として、谷戸小学校の屋宮校長が任命された。</li> <li>・社会教育課長より屋宮委員に任命書交付。</li> <li>・屋宮委員挨拶及び各委員自己紹介。</li> </ul> <p>第2回臨時会の会議録を承認する。</p> <p><b>（1）社会教育施策の今後のあり方について</b></p> <p>1 今後の進め方について</p> <p>※議長より、配布資料5「社会教育委員の会議 今後の日程（案）」に添って、今後の進め方と会議日程について提案、調整。</p> <p><u>決定</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回臨時会 : 5月10日（金曜日）午前10時～ 防災センター6階講座室1</li> <li>・5月定例会 : 5月21日（火曜日）午後2時～ 防災センター6階講座室1</li> <li>・第4回臨時会 : 6月14日（金曜日）午後2時～ 保谷庁舎3階第2会議室</li> <li>・6月定例会 : 6月21日（金曜日）午後2時～ 保谷庁舎3階第2会議室</li> </ul> <p>2 案文の検討について</p> <p>○事務局：</p> <p>配布資料1「社会教育施策の今後のあり方について（提言）第2案」のとおり、「はじめに」と「あり方」について、前回会議の議論を受け、正副議長で案文を作成した。この部分については、今日の会議である程度確定できればと思う。課題については、あり</p>	

方の中ではなく、「施策提言」の中で書くよう調整をしたい。「施策提言」部分は、出されたレポートの内容を提言の柱ごとに置いてみたが、どの部分を生かしてまとめるか、また、不足している項目や内容がないかなどについて意見をいただきたい。この部分はまだ未調整なので、次回会議で提案したい。

※配布資料1「社会教育施策の今後のあり方について（提言）第2案」について検討し、文面の修正、加筆等を行う。

#### 主な意見

○委員：

「あり方」の部分は、その次に提案する施策をすすめると課題が解決されるというイメージで、「はじめに」と「施策提言」の部分を繋ぐ章として書いたらどうだろうか。

○委員：

なぜ、3つの施策提言がでてきたのかわかるような書き方が良いと思う。

○委員：

ここでも、西東京市の課題を絞り込んで、まとめたような事を書いたらどうか。

○委員：

2ページの後半部分は、もう少し分かり易い方が良い。

○議長：

「あり方」の前半部分は、再度精査する。後半部分は、次の施策提言につながるよう組み立て直しをしてみたい。

※配布資料2「西東京市教育計画策定のためのアンケート調査報告書（概要版）」と配布資料3「西東京市教育計画策定のためのヒアリング調査報告書」について意見交換。

#### 主な意見

○委員：

ヒアリングの内容から、社会教育施設の状況や課題が読み取れるだろう。

○委員：

公民館のヒアリング内容などは、今後の検討の参考になると思う。

○委員：

公民館のヒアリングでの「他の事業との役割分担と連携について」の部分は、この会議でも議論した内容だと思う。

○委員：

公民館はがんばって社会教育事業に取り組んでいると思う

○委員：

アンケート結果を見ると、図書館は50代男性の利用が少ないようだが、全体的には市

民に親しまれていることがわかる。

○委員：

図書館のロビーは高齢者でいつも混んでいる。

○委員：

公民館のロビーも高齢者や小学生たちの利用が多い。

○委員：

教育委員会は学校教育中心のイメージがあり、60歳代以降の高齢者の教育の機会が手薄だと感じている。消費者被害なども社会問題としてあり、大人になっても学習する機会は必要だろう。

○委員：

社会教育というなら、個人の学習だけではなく、社会に対する働きかけを意識し、社会的課題について何らかの取り組みをする必要があるだろう。

○事務局：

大人になっても、学び直して大学や専門学校などの学習機会を活用して学ぶ人もいる。生涯学習支援は、学校教育、社会教育、家庭教育などの多様な教育のシステムを使って、一人ひとりの生涯にわたる学習をどう支援していくかということだと思う。その中で、社会教育としては、どういった学習を整えていったら良いかということだろう。

○議長：

今後もアンケート結果やヒアリング内容を参考に、提言の検討を進めていきたいと思う。

## (2) 報告・その他

### 1 教育計画策定懇談会（4月17日）の報告

○議長：

計画の柱立てについて議論した

### 2 放課後子供教室試行事業について

※矢野委員より、配布資料6「東小学校・住吉小学校 放課後子供教室試行事業 参加者数」に添って、報告。

○委員：

東小学校では、昨年度、11月から3月まで帰宅せずそのまま校庭での自由遊びや学習事業に参加できる試行事業を実施した。学習活動は、子どもたちのニーズを把握し、地域生涯学習事業での取り組みも参考にしながら企画し、学校施設利用団体、保護者OBや育成会、民生・児童委員、地域の高齢者などに講師やお手伝いをお願いし、多くの人の協力を得て実施した。アンケート結果も概ね好評であり、平成25年度の登録者数は130人になる見込みで、事業として浸透してきていると感じている。

○事務局：

平成24年度の試行事業では、毎回内容を変えて実施する形態と、同じ内容の教室を継続して実施する形態という2つのタイプの学習活動を実施して頂いた。平成25年度は、引き続きこの2校の他もう1校取り組みたいという要望がある。

○議長：

以上で本日の社会教育委員の会議（4月定例会）は終了する。

※次回会議 平成25年5月10日（金曜日）午前10時から